

■講義収録機材設営マニュアル

【必要なもの】

- ・ 三脚
- ・ 延長コード
- ・ 電池
- ・ Bluetooth マイク・イヤホン(黒いきんちゃく袋)
- ・ AC アダプター
- ・ ビデオカメラ式

ビデオカメラ式の中には、

カメラ本体（SD カードが挿入されているか確認！）／バッテリーが入っている事を確認してください。

【撮影の前の確認事項】

- ・ 撮影場所は受講生の邪魔にならないよう一番後ろの机が望ましいですが、大きい教室の場合は真ん中あたりより撮影してください。（一番後ろだとかなりズームするので画質が落ちます）
- ・ 黒板近くの電源タップ(教室後方にあればそちらでも可)から延長コードを繋いでください。

※電源を確保しながらでないと途中でバッテリーが切れてしまいます。

※電源タップが複数ある場合、中には通電していないものもあるので注意！

（電池の残時間が表示されている時は充電ができていません）

- ・ 録画可能時間が講義時間(3 時間)を切っていたら収録しきれない場合があります。受付スタッフ／事務局までご確認ください。

モニター画面



【カメラの準備】

● 黒いカメラの場合（箱がぼろぼろの方） ●

- ・ バッテリーをセットする
- ・ 電源コードを延長コード／差込口に差す

"DC IN"と書かれた部分を手前に引くと差込口が出てくるので、コードを差す。

（コードのさんかく印◀が左側）



● 白いカメラの場合（箱が割と新しい方） ●

- ・ バッテリーをセットする
- ・ 電源コードを延長コード／差込口に差す

ビデオカメラのベルト部分のコードを抜いて、出てきた USB 端子とコードをつなぎ、コード逆側の USB 端子を電源タップにつなぐ



【カメラのセット】

- ・三脚にカメラをセットする

①つまみを回して台座を外す



②台座のねじをカメラ下部のねじ穴に差し込み、 台座の下からねじを回して固定する

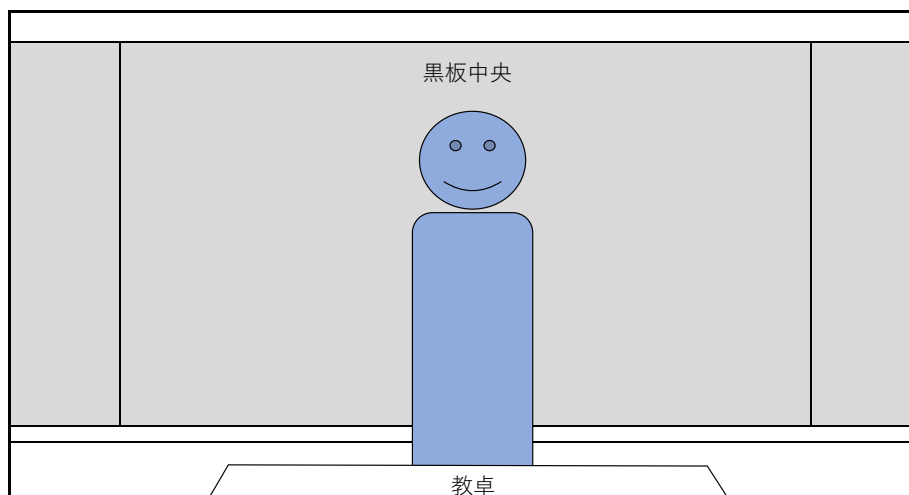


③三脚に再度セットし、つまみを回して固定する (右図参照)



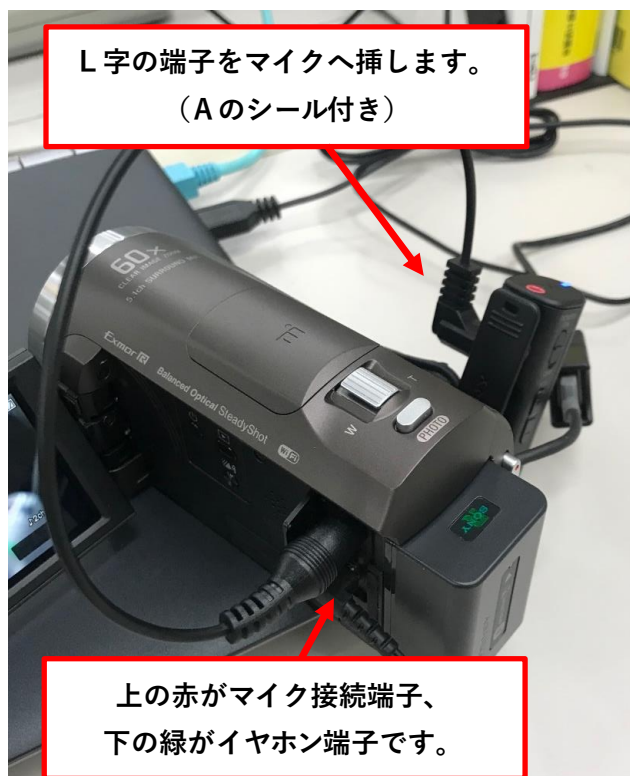
④カメラの電源を入れて画角を調整

- ・三脚を調整する際は、必ずねじを緩めてから動かすようにしてください
- ・画面は以下の状態を参考に三脚の高さやカメラのズームを調整してください。
- ・極力まっすぐになるよう、三脚などの高さを調整してください。
(黒板のふちを見ながら合わせるとやりやすい！)



【マイクのセット】

- ・マイクに電池をセットし、ビデオ用のマイクとイヤホンを本体に繋がします。



- ・講師用&ビデオ用両方ONにし、青いランプが点滅→点灯に変わるとスタンバイOKです。
- ・講義前に必ず音を拾えているかイヤホンとモニター画面の両方で確認してください。
- ・音声を認識するとモニター画面右下のバーが白く反応します。

※接触が悪いと音がきれいに入らない場合があります。明らかな異音があればコードを差し直してみてください。

※マイクのケーブルはいじるとすぐ乱れます。

音声が一度きれいに入ったら、それ以降ケーブルには触らないようにしてください。

※音を拾ってはいるが音量が小さい場合、ビデオに挿している方のマイクの

「+」ボタンを何回か押してみてください。

- ・電池の消耗をおさえるため、確認後はマイクをOFFにしてください。

【講義開始】

- ・講師が教室に来たら、マイク(講師に渡す方／ビデオにつないでる方)の両方をONにして講師に渡す
 - ・録画ボタンを押す際は講師へと合図を送るか、講師に合図してもらうようにしてください。
- (録画ボタンはバッテリー横の縦長“START/STOP”のボタンです)

- ・常に講師か、説明している板書が中央に映るようにカメラを動かしてください。

場合によってはズームダウンし、黒板を2面映してもOKです。

【その他確認事項】

- ・ エネルギーは 90 分～120 分程度で切れてしまいます。（使い捨ては 1 講義もちます）

必ず休憩のタイミングで交換をお願いします。

- ・ もしも講義の途中で切れてしまった場合は、講師に合図を送り速やかに電池交換を行ってください。
- ・ カメラは休憩のたびに一度とめるようにしてください。
- ・ 使用済みの電池は、ビデオが入っている箱の中に入れておいてください。
新品の電池が入っている箱には絶対に戻さないでください！

【こんな時は】

●マイクが音を拾わない

→正しい場所に端子が挿さっているか今一度確認し、マイクと本体のケーブルを両方とも挿し直してみてください。

解決しない時はマイクを使用せず、カメラ本体に音を拾わせてください。

（マイクの端子を抜くと、カメラ本体が音を拾いモニターの白いバーが反応します）

その場合、普段有線マイクを使わない講師にも有線マイクの使用をお願いしてください。

【収録中の音声確認について】

- 収録中はイヤホンを接続してマイクが講義の音声を拾っているかを聞きながら対応してください。

イヤホンはビデオカメラ本体のマイク差込口の下に「イヤホン差込み口」がありますので、そこに有線イヤホンを差込んで音声確認をしてください。

以上